



慶應義塾大学ビジネス・スクール

R-STORE 21st century classic 創出を目指して

5

— カリスマ経営者からのバトンタッチ —

都内の喧騒溢れる駅を抜けた閑静な住宅街の中に R-STORE 本社はある。

10

静謐で繊細な佇まいを持つその空間は、ある種の落ち着きを持って、来客を迎え入れてくれる。

ガラス張りのオフィスの中では、ファッショナブルな装いに身を包んだ女性社員が、何やら忙しそうな足取りで書類を抱え通り過ぎていった。

〈2018 年 R-STORE 社員 穂香の一日〉

15

「今日はどんな部屋に出会えるのだろうか」

運命の人に会う予感がする時のような淡い期待を抱きつつ、穂香は今日も新たな物件探しへと軽やかな足取りで会社を出る。

毎回ではないが、自分の心にヒットするような物件に巡り合った時の高揚感は何物にも代えがたい。

20

「早くこのお部屋をサイトにアップしたい！」

そんな逸る想いを抱きながら、その部屋の魅力を最大限表現した写真を撮り文章を起こす。それがサイト上の誰かの目に留まり成約を得る。

この一連の仕事は、自分が良いと思ったものを認められたようで、とても嬉しい。その喜びが彼女を仕事に駆り立てる原動力になっている。

25

勿論、最初から全てが上手く回っていたわけではない。最初の頃は、自分が薦めるお部屋自体は良くても、なかなか成約が得られない状況が続いた。

このケースは R-STORE 社の全面的な協力により提供された情報で作成された。謝意を表す。ケースの構成上、若干の事実は脚色されている。登場する人物名はすべて仮名である。ケースを作成したのは高木晴夫、鈴木雅絵、鶴ヶ谷理子である。本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright © 高木晴夫、鈴木雅絵、鶴ヶ谷理子（2018 年 11 月作成）